

**駅の電飾広告看板にLED光源を採用し、環境負荷の低減を図ります
新設の横浜駅に設置したほか、今後は駅改良工事の際などに順次導入予定**

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：上條清文）では、2004年1月31日（土）から東横線とみなとみらい線の相互直通運転開始に伴い地下に新設された横浜駅ホームに、光源に白色LED（Light Emitting Diode：発光ダイオード）を使用した電飾広告看板8基を導入しました。

今回導入した電飾広告看板は、(株)東急スペース開発と三洋電機(株)が共同開発した商品で、光源としてこれまで一般的に使用されてきた蛍光灯やネオン管に代わる、次代の高効率照明と期待されている白色LEDを採用しているのが特徴です。

光源にLEDを使用することで、従来型の光源に比べて消費電力を約60%、発熱量を約50%、CO₂排出量を約60%、それぞれ削減するなど環境負荷の低減を図っています。また鮮明でムラのない電飾広告看板となるほか、LEDの寿命が蛍光灯と比較して5倍以上の約10年と長いことからメンテナンス費用を削減できるなどの利点もあります。

白色LED光源を使用した電飾広告看板は、これまで空港や駅などへの実験的な設置はありましたが、本格的に導入するのは当社が初めてとなります。

東急グループは「自然環境との融和をめざした経営」を経営理念に掲げており、当社としても積極的に環境活動、環境負荷の低減に取り組んでいます。今後、駅改良工事等の際に新設する電飾広告看板については白色LED光源に順次、切り替えていくことで、さらに環境負荷の低減を図っていきたいと考えています。

今回、横浜駅に導入した、LED光源を使用した電飾広告看板の概要は以下の通りです。

導入日	2004年1月31日（土）
導入駅	東急東横線・みなとみらい線 横浜駅
設置台数	8基
主な特徴	<ul style="list-style-type: none">・環境負荷を低減できる。<ul style="list-style-type: none">従来光源（蛍光灯）に比べ、消費電力を約60%削減発熱量を約50%削減CO₂排出量を約60%削減・高輝度、高鮮明である。・光源の寿命が約10年と長い。（蛍光灯は約2年）

以上

参考資料

従来型（蛍光灯使用）の電飾広告看板



内 部



点灯状態

LED 光源を使用した電飾広告看板



内 部



点灯状態

参考資料



横浜駅ホームに設置した LED 光源使用の電飾広告看板



横浜駅ホームに設置した LED 光源使用の電飾広告看板